

つなぐ

令和4年度 美濃地区社会教育研修会

つなげよう! 地域と子ども ~持続可能な地域づくり~

「『地域と学校が連携することが持続可能な地域をつくることにつながる』...そのためには、何を大切にしたらよいのだろう」というヒントがもらえる研修会でした。

講話「白川村のつながりづくり」~いつまでも住み続けたい村づくり~

【講師】白川村教育委員会事務局 社会教育主事 新谷 さゆり氏



この活動は、「何のため? (目的)」
そのために「どんなつながり (手段)」
が大切?」を見つめることが

「つながりづくり」のはじまり!!



語り合う・話し合う・意見を
ぶつけ合う場があってこそ

「つながりづくり」

これが「担い手育て」!!

- (1) 一緒に活動する
- (2) 声をかける
- (3) 役や場をあたえる
- (4) 大人が楽しむ真剣に



この蓄積が大切!! 偶然や自然にではなく意図的に!

コロナで辛い思いをしている新成人へ
「一番幸せな成人式を届ける」
村民みんなでお祝いする成人式

オンライン担当	お祝いDVD担当	ドローン撮影担当	サプライズ担当
離れていてもお祝いできる方法 村員も参加できる方法 パブリックビューイング	多くの形跡からのお祝いメッセージ動画 新成人の幼少期からの思い出スライドショー 「保護者写真提供」	懐かしい村の色んな風景 村員からのお祝い動画 寄せ書き制作班	記念品 親と子それぞれ サプライズレター 村員からのあたたかいプレゼント

【参加者からの感想 (一部抜粋)】

- *手段と目的を切り分け、あくまで目的を大切にすることは確かにそうだと再認識しました。「いつまでも住み続けたい白川村」という目的を全体で共有し、同じベクトルで誰もが動くという姿勢に感服いたしました。これからの活動をする際、熟議を重ねていきたいと思ひます。
- *活動の「目的」を明確にし、そのための具体的な「方法 (方途)」を「熟議」の中で生み出している白川村は素晴らしい。
- *私たちの地域でも、公民館活動を始めるにあたって、公民館館長を中心に社会教育委員、学校代表、各委員が集まるが、自分たちのこととして主体的に活動していくことはなかなか難しいと思ひています。共通の目的「いつまでも住み続けたい村」がそれぞれに意識されていることが素晴らしいと思ひました。

3市(関市・美濃市・郡上市)による実践発表



【関市】 「学校と地域でつくる タウン誌」 発表者：北村 隆幸氏	【美濃市】 「放課後子ども教室等の 活動」 発表者：小澤 拓也氏	【郡上市】 「学校統合における 公民館活動」 発表者：和田 勝美氏
≪感想(一部抜粋)≫ ・タウン誌づくりのノウハウを生かし、生徒に作ってもらう活動はとても意義がある。この体験から学ぶことが多くあり、それが関市に住むということにつながると思う。	≪感想(一部抜粋)≫ ・地域の方の参画を得て行っていることは、とても大事でステキなこと。子どもを「預かる」だけでなく、関わっている側も楽しみとなっているのは、事業の一番いい形なのでは。	≪感想(一部抜粋)≫ ・学校統合前は独自の特徴を活かして取り組んできた。これを大切にしつつ、新たな取組と公民館の役割を重要視され、地域一体の方向を大切にされていることが分かった。

【サテライト会場別意見交流会・全体交流会】



地域と学校が対等に「目的意識」をもって活動することが大切だと思います。

【こんなご意見もいただきました】

- *コミュニティスクールができたばかりなので、学校地域協働活動に関する初歩的な内容を聞けるとよかったです。
- *実践事例を基調とした研修会を継続するなら、オンライン形式では意見交流でどんなことを深めるかを明確にしなければならないと思う。
- *コロナ後の活動の在り方、新たな活動方策について情報発信してほしい。

たくさんのご感想・ご意見・ご質問をいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見等をもとに、来年度はさらに充実した研修会が行えるよう工夫してまいります。

